

# 認知症を知ろう! ~早期対応のすすめ~

## 第2回

前号では、認知症の主な症状や代表的な種類についてお話ししましたが、今回は、早期発見、早期対応の大切さについてお話しします。完治が難しいとされている認知症ですが、ほかの病気と同様に早く見つけて対応することが肝心です。誰もがかかる可能性のある病気ですので、ご自身や家族に思い当たることがあれば早期に相談、対応をはじめましょう。

2040年には **3人に1人が 認知症 か 軽度認知障害(MCI)**



昨年5月に開かれた国の認知症施策関係者会議の報告によると、2040年には65歳以上の高齢者のうち認知症が584.2万人(14.9%)、その前段階の軽度認知障害(MCI)が612.8万人(15.6%)となり、高齢者全体のおよそ3人に1人を占めるようになるということです。

もの忘れなど軽度の認知機能障害がみられるが、日常生活では支障が出ていない状態のこと

### 早期発見・早期対応のメリット

#### ◇進行を遅らせることができます

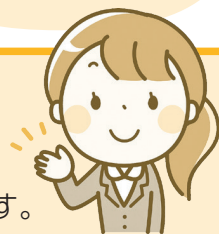
アルツハイマー型認知症の場合、服薬により進行を遅らせることができるため、早い段階から治療を開始することが効果的だといわれています。

#### ◇治療により改善する場合もあります

「正常圧水頭症」「慢性硬膜下血腫」など認知症を引き起こしている病気によっては、早期に手術することにより改善できるものもあります。

#### ◇事前に今後の生活の準備ができます

症状が軽い段階から本人や家族が認知症の症状に向き合い、話し合うことで、今後の生活への備えをすることができます。また、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談し生活環境を整えることで、認知症による生活上の支障を軽減することもできます。



### 早期発見のための目安 こんなことはありませんか？

- |                                                    |                                                     |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言ったり聞いたりする        | <input type="checkbox"/> ささいなことで怒りっぽくなる             |
| <input type="checkbox"/> つい最近の出来事や今しようとしていたことを忘れる  | <input type="checkbox"/> 料理や掃除、計算など以前できていたことにミスが増える |
| <input type="checkbox"/> 置き忘れ、しまい忘れが増え、いつも探し物をしている | <input type="checkbox"/> 会話やテレビ番組の内容が理解しづらくなる       |
| <input type="checkbox"/> 物の名前、知っている人の名前が出てこなくなる    | <input type="checkbox"/> 以前はあった興味や関心がなくなる           |
| <input type="checkbox"/> 約束の日時や場所を忘れたり間違える         | <input type="checkbox"/> 着替えやお風呂など身だしなみに気を使わなくなる    |
| <input type="checkbox"/> 慣れた道や近所で迷うことがある           | <input type="checkbox"/> ふさぎこみ何をするのも面倒になる           |

**今までと違う?と感じたら、早めに相談しましょう!**

第3回へつづく

